

○議長（堀内春美さん）

続いて、通告7番 4番 深澤一幸君の一般質問を行います。

4番 深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

それでは、通告に則り、質問をさせていただきます。明瞭かつ簡潔に質問をしていきますので、当局の皆様の回答もですね、簡潔明瞭にひとつよろしくお願いいたします。それでは質問の方に入ります。いよいよ本県においても、2回目の国民大会が2032年、9年後にですね、いよいよ開催されることが決定されました。県内開催は1986年のかいじ国体以来となります。今回は合併前ということで、増穂町が弓道、鯉沢町がカヌー競技と2種目が実施されました。私も、カヌー競技に支える側として参加しました。スポーツには、体の健康づくりのほか、心の健康をも向上させてくれる作用があると言われていています。競技することの楽しみ、応援することの楽しみと、スポーツは、人類だけに与えられた最高の特権だと思えます。さて、9年後の富士川町はどのような競技が開催されるのか、楽しみなところでもあります。それでは、質問事項1、スポーツツーリズムの推進について質問をいたします。山梨県スポーツ成長産業化戦略の中に、目指すべき姿として、スポーツで稼げる県と謳っております。この県を町に言い換えて、まさにスポーツで稼げる町を目指すべきだと考えます。ふるさと納税をはじめ、各種の施策で税収増を目指している今、スポーツ施設を資源としたスポーツ大会、合宿誘致等を実施し、観光客同様に、交流人口を増やすことにより、スポーツツーリズムによる経済効果を期待するものであります。そこで（1）の町は、スポーツツーリズムについてどう考えているのか伺います。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまの質問にお答えします。スポーツツーリズムとは、スポーツを見に行くための旅行およびそれに伴う周辺観光や、スポーツに関わる様々な旅行のことであり、スポーツと観光を融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及などを目指す取り組みであります。スポーツイベントは、多くの選手、その家族、関係者が訪れることから、振興はもとより、観光振興にとっても、非常に有効な事業であると考えているところでございます。以上です。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。スポーツはする人、見る人、支える人と、この3つに大別されます。富士川町の規模では、国、県のように3つのうちの見る人、要は観客ですね、観客を呼べる大会は、なかなか難しい状況であることは承知しております。これからスポーツツーリズムを推進していくのに、富士川町の課題は何だと思われますか。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 井上誠君。

○生涯学習課長（井上誠君）

ただいまのご質問にお答えします。大きな大会を実施する際には、まず、試合を行う施設や練習を行う施設など、多くの施設が必要となります。また、宿泊施設におきましても、必要数を確保していかなければなりません。これらのことから、本町単独で実施するのではなく、広域的に実施する必要があると考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

それではですね。少しまた質問させてもらいますけども、先ほども述べましたが、スポーツはする人、競技者、見る人、観客、支える人、運営者が関わって成り立っています。スポーツツーリズムを地域で推し進めていく原動力となるのが、地域スポーツコミッション組織と言われています。地域の魅力発信や、大会・合宿誘致などPR配信を行いながら、利用者の窓口となり、ニーズに迅速な対応をし、スポーツと観光関連組織の連携や調整をワンストップで行う役割を担います。以上のことを踏まえて、(2)のスポーツツーリズムの推進のための組織づくりの考えはあるのか伺います。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 井上誠君。

○生涯学習課長（井上誠君）

ただいまのご質問にお答えします。スポーツツーリズムの推進につきましては、スポーツと観光事業を融合させるため、魅力ある事業であることは認識しております。このことから、関係課および株式会社ふじかわまちづくり公社と連携を図りながら、スポーツツーリズムに関係する組織につきまして、研究をして参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。これから組織について研究していくということで理解をしました。特に株式会社ふじかわまちづくり公社には期待をします。さて、夏季のプール合宿、野球の合宿や大会、サッカーの大会等、既にスポーツツーリズムに近い事が行われていると、見聞きしております。町は、このような状況をどのように把握していますか。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 井上誠君。

○生涯学習課長（井上誠君）

ただいまのご質問にお答えします。町と宿泊業者が連携いたしまして、スポーツ合宿の受け入れを行っております。一例を挙げますと、夏季のプール合宿では、6団体が訪れ、野球やサッカーなどの競技は、年間を通じて公式戦や練習試合を行っているところであります。このほか、スポーツ協会専門部におきまして、交流大会を行うなどの活動をしているところでございます。以上です。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

これからもですね、言葉は、言い方はちょっとおかしいですけど、どんどん受け入れをしていただきたいなと思っております。それでは続いて2番目の質問事項、スポーツ施設の整備について質問いたします。本町には、合併前の増穂町、鯉沢町に整備されたスポーツ施設があります。今回は、体育館は除いてあります。殿原スポーツ公園の野球場、ソフトボール場、弓道場、大法師公園のソフトボール場、テニスコート、弓道場、利根川公園のプール、テニスコート、親水公園の芝生広場、いきいきスポーツ公園、サッカー場、陸上競技場、ふれあいスポーツ広場、ソフトボール場、ゲートボール場とたくさんの施設が、町内外の人に利用されています。このような施設が、スポーツツーリズムの期待に応えられるかどうか、ということで（1）の県内外の大会を誘致できるように、スポーツ施設の整備は考えられるのかを伺います。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 井上誠君。

○生涯学習課長（井上誠君）

ただいまのご質問にお答えします。県内外の大きな大会を開催する場合は、大会実施のメイン施設はもちろんのこと、練習施設も必要となります。このことから、既存の施設を有効に活用しながら、複数市町の連携による、広域施設利用を視野に研究して参りたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。私も関わっておりますソフトボール競技も、確かに大きな大会になると練習会場、もしくはですね、同じグラウンド内でも練習ができる、そのくらいの大きなスペースが取れる施設を確保しています。先ほど、広域的にと答弁をいただきましたが、広域的とは、近隣の自治体という意味でしょうか。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 井上誠君。

○生涯学習課長（井上誠君）

ただいまのご質問にお答えします。峡南地域や南アルプス市など、近隣の自治体との連携が必要であると考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

次の質問に移る前にですね、ちょっとパネルを用意しました。当局、議員の方にはですね、議案の中に、先ほどの小林議員と同じように掲載をさせていただいております。見えますか。ちょっとパネルを立てさせていただきましたけども、再質問をさせていただきます。ちょっと移動してしましまして申し訳ございません。それでは（2）の質問に移ります。種目によっては大勢の人が選手、大会関係者として訪れますが、競技施設と併せて駐車場の整備も大

事ではないでしょうか。都市公園内の競技施設は、教育委員会、教育施設以外は都市整備課の管理となっています。そこで、都市公園内のスポーツ施設については、駐車場の整備も必要となります。一体で考えられないかを伺います。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 井上勝彦君。

○都市整備課長（井上勝彦君）

ただいまのご質問にお答えします。町内の都市公園で、スポーツ施設が整備されている公園は、4か所となります。このうち、殿原スポーツ公園においては、昨年度に、駐車場の利用状況について、調査を実施したところ、大会など開催される際には、駐車場が満車状態となる状況が見受けられましたが、コロナ禍での調査であったため、今後も利用状況調査を行って参りたいと考えております。また、富士川いきいきスポーツ公園は、整備中であり、そのほかの公園についても、利用状況を勘案して駐車場の整備を検討して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。平成22年6月の定例議会において、殿原スポーツ公園の相撲場跡地の利用計画はと、一般質問をしています。当時の町長は、駐車場としての要望もあるので、整備できるかどうか早急に検討すると答弁しています。いつ相撲場が駐車場になったのでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 井上勝彦君。

○都市整備課長（井上勝彦君）

ただいまのご質問にお答えします。平成25年度に、新たに34台分の駐車場を整備いたしました。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

先ほど、このパネルを掲示させていただきましたですけど、施設ができたのは昭和53年ということですから、42、3年経っているという施設でございます。何も手をつけてないということはないとは思いますが、やはり年を重ねることによって、老朽化もしてくるし使用頻度も落ちてくるし、全く使用しないという施設も出ております。先ほどから、私も駐車場のことで少しお話をさせてというか、注文っていうですかね、お聞きしたいなということでお話を伺っておりますが、現在ですね、使われてない噴水施設を駐車場にしてほしいとの声があります。廃止するのか、または違う方法も考えられますか。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 井上勝彦君。

○都市整備課長（井上勝彦君）

ただいまのご質問にお答えします。今年度策定する、都市公園の長寿命化計画で、噴水施

設について、改修または廃止を判定する中で、駐車場の整備についても検討して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

再質問です。今年度予算、公園施設の適切な修繕をするとしていた、殿原スポーツ公園の駐車場ラインは、上書きでなく新しい区画で書いてありますが、前の台数と同じですか。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 井上勝彦君。

○都市整備課長（井上勝彦君）

ただいまのご質問にお答えします。修繕前は45台でしたが、多くの車が駐車できるように配置を変更しましたので、6台分増えて、51台となっております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

深澤一幸君。

○4番議員（深澤一幸君）

簡潔明瞭なご回答いただきました。以上で私の一般質問を終わります。

○議長（堀内春美さん）

以上で通告7番 4番 深澤一幸君の一般質問を終わります。

---